

株式上場の複雑な実務を262のQ&Aで網羅的に解説！
基礎知識の習得、上場手続の円滑な進行に役立つ1冊です

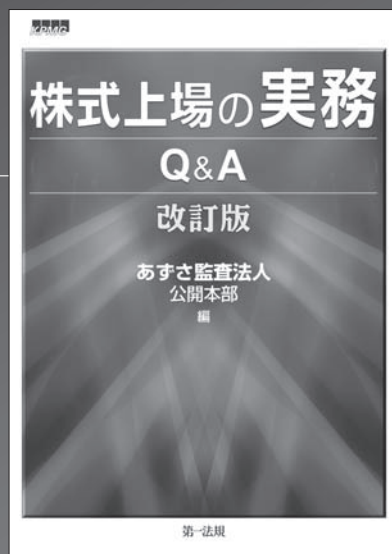
株式上場の実務

Q&A 改訂版

あずさ監査法人 公開本部 編

B5判 820頁 定価 本体5,200円+税

- 株式上場の基準、取扱い等の解釈に関する疑問点から上場後の注意点まで、262のQ&Aで徹底解説
- 内部統制報告制度をはじめ、資本政策、上場審査、経営管理体制、会計制度に関する実務等、最新動向を織り込んだ改訂版
- 株式上場の実務経験豊かな公認会計士がわかりやすく解説



11-1

内部統制の評価と監査の導入スケジュールは

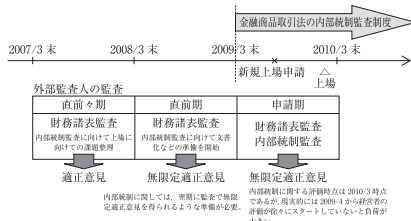
Q

株式上場にあたって、内部統制の評価と監査の導入スケジュールは、どのように考えればよいのでしょうか。

A

- ポイント
- (1) 内部統制評価の準備は、直前々期には、対応についてスケジュール化しておくことが望まれる。
 - (2) 外部監査人による内部統制監査の実施は、上場後最初に到来する決算期からであり、そのため申請段階では、一通りの整備・運用・評価を終えておくことが理想である。

2010年3月期を申請期と考えた場合の導入スケジュール例



1. 内部統制評価の準備段階（上場申請期の直前々期）

上場申請時には、内部統制報告書に対する監査報告書は必要ではありませんが、上場後、初めて到来する決算時点で求められることから、かなり早い段階から内部統制評価の準備を進めていく必要があります。

上場申請直前々期においては、内部統制評価の観点からいえば準備段階であり、株式上場に向けての基本的な課題の解決に注力する時期といえます。完全ではないにしても内部統制の整備についての対応を終えて課題をしましこんだ状態にしておくことが理想的といえます。例えば、ITのインフラに不備がある場合には、改善に時間がかかり上場のスケジュール全体に影響することもありますので、優先順位を整理してスケジュール化しておくことが肝要です。また、この段階では、内部統制の基本方針の明確化やパイロットプロセス・拠点の選定といったことを行い、内部統制評価の展開についての計画立案や取締役会での承認を取っておくことが望ましいでしょう。

外部監査人については、独立性の観点から一定の制約はありますが、文書化等の過不足を回避するためには両者の情報交換は不可欠といえます。

2. 内部統制評価の文書化・テスト・改善段階（上場申請直前期）

次に直前期においては、内部統制についての文書化、運用テスト、是正を要する事項についての改善を行う時期となります。

文書化のために要する期間は、会社の規模や評価の対象として選定された拠点・業務プロセス等にもよるため、一概にはいえませんが、その後に運用テストを行い、是正手段を講じることを考えると、できるだけ申請直前期の早い段階で文書化を行うことが必要です。また、内部統制のテストで発見された不備の中に「重要な欠陥」に分類されるものがある場合には、外部監査人による内部統制監査期間末までに適切な対応が必要となります。

3. 外部監査人による内部統制監査の実施段階

上場後初めて到来する決算期について、外部監査人による内部統制監査が行われます。この段階では、すでに行ってきた文書化・内部統制のテストを通して、経営者自らが内部統制の評価を行うことになります。



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
http://www.daiichihoki.co.jp

Tel. 0120-203-694
Fax. 0120-302-640

■はじめに

■1 株式上場の概要について

株式の上場とは
新興企業向けプロ投資家市場について
最近の上場会社の特徴は

■2 上場準備について

上場準備を始めるにあたって誰に相談したらよいか
内部統制評価と監査について
上場準備のプロジェクトチームの構成とその注意点は

■3 資本政策について

資本政策の基本戦略とは
事業承継対策と資本政策の関係は
種類株式の資本政策への活用とは

■4 資本政策と税務について

国税庁方式による株価とは
ブックビルディング方式による公開価格の決定方法は
自己株式の会計処理と税務上の課税は

■5 上場審査について

形式基準とはどのようなものか
実質基準とはどのようなものか
上場審査はどのように行われるか (取引所上場、JASDAQ 上場、
マザーズ及びヘラクレスの審査の違い)

■6 上場申請書類について

上場申請書類の種類は
コーポレート・ガバナンスに関する報告書

■7 役員・大株主と会社との取引について

役員・大株主とは
役員・大株主との取引の解消方法と注意点は

■8 関係会社について

上場審査上、関係会社はどのようにみられるか
関係会社管理のポイントは
内部統制の評価及び監査における関連会社の取扱い

■9 役員について

会社法による組織体制・役員構成と上場審査の関係とは
同族役員が多数を占める取締役会は問題となるか

■10 組織について

上場審査とコーポレート・ガバナンスの関係は
会社法による機関設計と上場審査の関係は
標準的な管理部門の人員配置は

■11 経営管理体制の整備について

内部統制の評価と監査の導入スケジュールは
内部統制の目的と基本要素は
I T 統制とは

■12 予算制度について

積上げ式の総合予算とは
ビジネスプランの審査上の見方は

■13 会計制度について

月次決算の精度とタイミングは
原価計算はどのように整備するか
棚卸資産の評価の基準

■14 会計・税務の個別論点について

税務決算と会計決算の相違は
簿外資産・簿外負債はどう処理するか
金融派生商品 (デリバティブ取引) は審査で問題となるか

■15 上場後の注意点

上場後のディスクロージャー制度とは
会社法による敵対的買収に対する防衛策とは
株価リスクと I R 戦略は

■16 その他

決算公告の電子化は
株券不発行制度とは

ホームページからのお申し込みは

<クレジットカードでもお支払いいただけます>



第一法規

検索

